

特別支援教育は全ての施策の基本です

あきる野市教育委員会では、すべての子どもが生き生きと学校生活を送るために、平成22年度においても特別支援教育の推進を重点施策の中心に位置付け、全ての施策に関連づけて取り組みます。さらに、文部科学省や東京都教育委員会の指定を受けるなど、特別支援教育を積極的に推進します。

児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに合った時期・場所・方法で支援を行うため、現在、市内の小学校8校・中学校4校の合計12校に特別支援学級を設置して、特別支援教育の充実を図っています。

増戸中学校に特別支援学級を開設

特別支援学級の設置率72パーセントを超える

特別支援教育のこれまでの取組によって、保護者の皆様の理解も深まり、より一層のニーズが高まってきていることから、平成22年4月には、

増戸中学校にも特別支援学級（通級）を開設します。この開設により、市内全18小中学校のうち、13校目、設置率が72パーセントを超える特別支援学級の設置となり、あきる野市の特別支援教育がさらに充実します。

開設する特別支援学級

増戸中学校に開設する情緒障害等を対象とした通級指導学級は、秋多中学校について中学校2校目の設置となります。次のような生徒が対象になります。

- 知的発達の遅れがないのに、読む、書く、計算する等が著しく苦手
- こだわりが強く、新しいことに取り組むことが苦手
- 落ち着きがなく、たえず動き回る等、集中して学習に取り組むことが苦手
- じょうずに自分の思いを表現できず、友達とコミュニケーションをとることが苦手

通級指導学級について

通級指導学級への入級につ

いての、ご希望、ご質問のある方は、現在在籍している学校の担任、特別支援教育コーディネーター、通級指導学級担任、教育相談所等にご相談ください。

実際の教育活動の見学やお問い合わせについては、秋多中学校の通級指導学級までお願いします。

増戸中学校の通級指導学級の施設見学はできませんが、学校の見学については増戸中学校副校長までお問い合わせください。その他、ご不明な点があれば、教育委員会指導・学務課にご相談ください。

- 増戸中学校
☎596-0241
- 増戸小学校（通級）
☎533-7278（直通）
- 秋多中学校（通級）
☎532-3263（直通）
- あきる野市教育相談所
☎558-6444（直通）
- 教育委員会指導・学務課
☎558-1111（代表）

前田小学校が東京都教育委員会から表彰されました。

特別支援教育の取組が評価され

あきる野市教育委員会は、学校教育の質の向上を図るために、平成16年度から3年間、東京都教育委員会の特別支援教育推進事業の指定を受け、他市に先駆け特別支援教育に取り組んできました。

特別支援教育の推進は、平成22年度の重点施策の中心に位置付け、全ての施策の基本としています。

このようななか、平成17年度には、前田小学校に言語障害通級指導学級を開設し、「一人ひとりを大切にする指導は、児童325名にとっても心地よい指導である。」「一人ひとりを大切にすることを学びやすい環境である。」を掲げ、「特別な」から「あたりまえ」の特別支援教育で「日本一優しい学校」をめざす取組を推進してきました。この取組が、東京都教育委員会から大きな評価を受け、去



全校児童の前で、宮林教育長から表彰状を授与される竹川校長



宮林教育長の受賞の意味や大切さの話しを真剣に聞く子どもたち

る1月28日に表彰されました。

この表彰の喜びを、全校の児童や先生方と分かち合うため、2月8日の朝礼で、宮林教育長から竹川校長に、改めて表彰状を授与しました。

あきる野市教育の日

あきる野市は、平成16年に、市民の教育への関心と理解を深め、次代を担う子どもたちの教育に関する取組を、市民全体で推進し、教育の充実と発展を図るため、12月の第一土曜日「あきる野市教育の日」に制定しました。この制定を機にさまざまな催しや取組が行なわれています。

「第14回未来を築く青少年健全育成あきる野市大会」

教育の日になんで、12月5日に「第14回未来を築く青少年健全育成あきる野市大会」が開催され、小学生6人による人権メッセージの発表と中学生の主張大会が行なわれました。

この主張大会には、中学生1,540人から応募があり、その中から選ばれた17人が発表しました。この中から最優秀賞を受賞した発表作品をご紹介します。

「ありがとう」と「あたり前」

都立あきる野学園三年 藤原 由真

みなさんは、「ありがとう。」という言葉を一日にどれくらい聞きますか。私は、出来る限り言うように心がけていま

す。それを心がけようと思った理由は、一つ一つの幸せを感じることが出来るからです。学校に行き、家に帰れば家族がいて、食事もできて、安心して寝られる場所があるからです。私は、それに気づくまで、毎日をぼんやりとすごし、不満ばかり抱いていました。

そんな私が、気づききっかけとなった出来事は、小学生の時、先生に「何でもあたり前だ」と思ふな。」としかられた事でした。当時は、その言葉の意味がよく分かりませんでした。でも、中学生となった今、少しずつですが、その言葉の重みが分かってくるように思います。何にでもあたり前と思うことは、とても悲しい事です。なぜなら感謝する事が出来なくなってしまうからです。今感じている小さな幸せは、実は数々の奇跡が重なって出来ているものだから

です。みなさんは、関心を持たれていないと感じたことがありますか。ありがとうと関心は、大きなつながりがあると、私は思うのです。

私は、人に関心を持たれていないと感じたことがあります。それは、話をしている時に「へえ、ふーん、そうなんだ。」とつまらなそうに返された事です。その時、私の話は、つまらないのかと、悲しくなり、別の話を探しました。相手が興味のあるような話を持ちだしても、「そうなんだ。」で終わってしまいました。その事を考えているうちに、私自身もそのような話し方をしていた事に気づき、関心を持たないことは、とても怖い事だと思いました。

関心がないということは、その人や物に対して感情がなくなることで、自分がよければそれでいい、という身勝手な考えに

なっていくことだ、と私は考えました。礼儀はちゃんとしていても、相手に思いやりを持って接しなければ、暖かみがなく、冷たさだけが残ります。そして、その人らしさを感じられなくて、興味がないことが伝わります。私は、それが広がってしまふのが、とても恐ろしいです。最近殺人事件が増えていますが、殺した理由は、「誰でもよかった。」という自分勝手なものばかりです。それを聞くと、私は、「その人の人生を奪って何とも思わないのか。」と悲しくなります。殺人は、やってはならないことです。が、そんな理由で殺してしまふなんて、私は理解できません。関心がなくなっているから、起きてしまったのかなと考えると、起きました。

始めに話した「ありがとう。」と「あたり前」と思わない事。」についてですが、この二つこそが、思いやりを持って接することのできる鍵だと私は思います。私の周りには人達に会いたい、一緒にいることができ、支えてくれる、それはとても奇跡的なことです。決してあたり前だと思っはいけないの

です。では、お互いに関心を失わずに接するには、どうしたらいいのでしょうか。大事なことは、挨拶をすることと、相手の話を聞くことだと考えます。そして何よりも、感謝の気持ちを持つことです。自分一人の幸せというのは、一瞬で終わってしまいます。欲が満たされたとしても、何か足りません。それは、思いやりや優しさなど、一緒にいることで手に入るものです。ささいな事をありがとうと言うだけでも、違います。大切に接していくことです。「ありがとう。」「あたり前。」この二つをいつまでも心にとどめながらがんばっていきたいです。



1,540人の応募者の中から見事最優秀賞を受賞した藤原由真さん